

saveMLAK と 学校図書館

横山寿美代

saveMLAK & SLiiiC

2012年7月1日

1

はじめに

- 自己紹介

2

学校や学校図書館の支援内容

- 情報支援
- 人的支援
- 物的支援

3

今後の課題

- 被災情報の入手
- 被災情報の入力

4

おわりに

自己紹介

- 東京都で学校司書をしています。
- 学校図書館団体 SLiic の代表です。
 - <http://www.sliic.org/>

saveMLAKに関わるきっかけ

- 3月11日以降，スタッフが個人ベースでフォロー。
 - 3月後半中山美由紀さんからの提案。
 - 4月後半，「学校図書館員ができること」がsaveMLAKに設置される。
- これをきっかけに SLiiiC として関わるようになる。

支援の種類

① 情報支援

- saveMLAK 内のコーナー設置, ウィキ祭り, 学校情報の一括登録

② 人的支援

- 石巻市立小学校の図書館支援

③ 物的支援

- 朝読書用図書の送付

1

はじめに

- 自己紹介

2

学校や学校図書館の支援内容

- 情報支援
- 人的支援
- 物的支援

3

今後の課題

- 被災情報の入手
- 被災情報の入力

4

おわりに

saveMLAK内のコーナー設置

- 「学校図書館員ができること」
 - 学校図書館が知っておきたいこと，救援アイデア，震災に関連した授業実践・学校図書館活動の事例の収集，掲載
- 各種情報源の整備
 - 「学校関連情報（教職員・保護者の皆様へ）」
 - 「ティーンエイジャー（中・高校生）の皆様へ」

ウィキ祭り

- 第4回，第9回うきうきウィキ祭り
(2011年6月4日，12月27日)
 - 学校図書館強化祭りとして，施設基本データや学校図書館施設ページの入力を行った。
 - 初心者の方に向けてレクチャーを行った。

学校情報の一括登録

- 被災情報が入力しやすくなるように、小中学校の施設データを登録。
 - 図書館ではなく、学校としたのは学校図書館は学校の施設の一部であるため。
 - 2011年12月19日のMeetUPで提案、現在一部地域を除いてほぼ登録完了。

1

はじめに

- 自己紹介

2

学校や学校図書館の支援内容

- 情報支援
- 人的支援
- 物的支援

3

今後の課題

- 被災情報の入手
- 被災情報の入力

4

おわりに

石巻市立小学校図書館支援 1

ボランティア団体「プロジェクト結」の要請による

- 大原小学校（2012年1月4日，5日）
 - 廃棄本，落下本の整理
 - 本のラベル付け（分類作業も含む）
 - 絵本コーナーの設置
 - 購入図書のプロポーザル作成

(ラベル貼りの支援)



Figure 1: プロジェクト『結』の皆さんと

(読み聞かせコーナー設置)



Figure 2: 読み聞かせコーナー

石巻市立小学校図書館支援 2

- 橋浦小学校，釜小学校（2012年3月29日，30日）
 - 本の排架レイアウト
 - 排架作業（古い本の移動や廃棄候補の選定）
- 東浜小学校，釜小学校（2012年5月15日，16日）
 - 廃棄図書を選定と移動
 - 環境整備（読書コーナー，書架の整備）

参考: saveMLAK ニュースレター 3, 5号

1

はじめに

- 自己紹介

2

学校や学校図書館の支援内容

- 情報支援
- 人的支援
- 物的支援

3

今後の課題

- 被災情報の入手
- 被災情報の入力

4

おわりに

朝読書用図書を送付

【saveMLAK 全体の活動として】

日本フィランソロピー協会の事業仲介

- 南三陸町立小学校へ朝読書用の図書を送付。
- saveMLAK は図書購入，ブッカー掛け，送付を行った（プロボノ事業）。

1

はじめに

- 自己紹介

2

学校や学校図書館の支援内容

- 情報支援
- 人的支援
- 物的支援

3

今後の課題

- 被災情報の入手
- 被災情報の入力

4

おわりに

1

はじめに

- 自己紹介

2

学校や学校図書館の支援内容

- 情報支援
- 人的支援
- 物的支援

3

今後の課題

- 被災情報の入手
- 被災情報の入力

4

おわりに

被災情報が入手困難

- 被災した学校図書館のデータがWebで手に入らないので、入力できない。
 - 学校の情報を外部へ出す事への警戒感。
 - 広報体制が十分でない学校もある。
 - 年度替わりや統廃合の問題もある。

解決方法：被災情報の入手

- 学校名を出さずにまとめる。
 - 例：saveMLAKにおける東京都立高校被災情報
- 各種研究会で公表された情報の収集。

1

はじめに

- 自己紹介

2

学校や学校図書館の支援内容

- 情報支援
- 人的支援
- 物的支援

3

今後の課題

- 被災情報の入手
- 被災情報の入力

4

おわりに

被災データの入力について

- データ入力や編集者の不足
 - PCに明るくない人も多い。
- レクチャーする機会の不足
 - 学校図書館の世界でも，こうしたデータを扱う機会が少ない。

解決方法：被災情報の入力

- 学校図書館関係者のウィキ祭りの参加を促す。
 - 単に入力する場としてだけでなく，こうしたツールやデータになれる場が引き続き必要かも知れない。
- 入力とは別にレクチャーする必要性

1

はじめに

- 自己紹介

2

学校や学校図書館の支援内容

- 情報支援
- 人的支援
- 物的支援

3

今後の課題

- 被災情報の入手
- 被災情報の入力

4

おわりに

saveMLAKの活動から

- ① 支援のあり方として、直接支援だけが支援ではないはず。
 - 例えば、支援したいと思っている人と、支援して欲しいという人たちを繋ぐ。
- ② 情報を次へ伝えるために
 - 今何が起きているかを記録する必要性。
 - ネット上で取り出せることの重要性。

最後に

- システムチームをはじめ， saveMLAK の皆様や，様々な方のご協力，ご配慮に感謝申し上げます。
- 学校図書館関係者だけではとてもできないことだったと思っています。

発表は以上です。

ご静聴，ありがとうございました。